

日本医科大学救急医学教室 研修プログラム

給与	基本給(24.3万円/月)+当直料(1万円/回)+外勤料(計約60~80万/月)
身分	専攻医
勤務時間	8:00-17:00
義務当直	5~6回/月
社会保険	労働保険、健康保険、厚生年金保険、雇用保険を適用
健康管理	年1回 その他各種予防接種

臨床現場を離れた研修活動 日本救急医学会、日本臨床救急医学会、日本外傷学会、日本集中治療医学会のほか、日本中毒学会、日本熱傷学会、日本集団医学会、日本病院前診療医学会など救急医学・救急医療関連医学会の学術集会への1回以上の参加ならびに報告を行う。旅費に関しては年回2回まで全額支給、論文投稿費用は英文も含め全額支給。



問い合わせ先 短期間実習や学生実習についても歓迎します。

応募資格	専修医、大学院生、救急専門医取得希望者
提出書類	履歴書、医師免許証(写)
選考方法	面接、書類選考(いつでも可)
問い合わせ先	日本医科大学付属病院 高度救命救急センター 医局
住所	〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5
TEL	03-3822-2131
FAX	03-3821-5102
メール	masuno@nms.ac.jp(医局長 増野 宛)

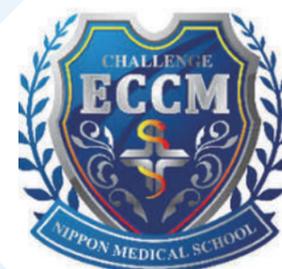


 <https://www.facebook.com/nmsccm1>

 https://twitter.com/NMS_CCM

日本医科大学 救急医学教室

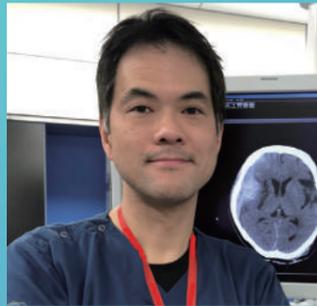
専門研修プログラム



CHALLENGE
ECCM

MESSAGE

ご挨拶



この度は「日本医科大学救急医学教室 専門研修プログラム」に御関心を頂き、誠にありがとうございます。プログラム責任者として心より御礼を申し上げます。本プログラムのメインテーマであります「チャレンジ（挑戦）」の精神は、本学救急医学教室の創設以来、スタッフ全員が共有してきたスピリットです。『どんなときも人命を第一に、決してあきらめない姿勢』。私たちがずっと大切にしてきた方針です。

この精神を継承すべく、教室員一同、皆さんの期待にお答えできるプログラムを準備して参りました。皆さんが将来、理想の救急医としてのキャリアに到達できるよう、充実した研修環境を提供することをお約束します。

救急医学のフィールドは無限大です。日々の診療は勿論、地域包括ケアの最後の砦として、社会との連携は必須です。また、より多くの人を助けるためには、日々の臨床で感じた疑問を自ら解決する姿勢も重要です。さらには、先生方自身が後進を指導し、わが国の救急医学のレベルを維持し続けることも極めて重要です。医師のキャリア形成において臨床・研究・教育は三位一体なのです。

命の危険にさらされている患者さんに『待った』はありません。時には自己犠牲の精神をもって対処しなければならないときもあるでしょう。しかし、これらの上に得られた成功体験はきっと皆さんの大きな糧になるでしょう。ぜひ感動する体験を共有しましょう！皆さんの挑戦のスピリットに期待しています。

2021年4月

プログラム総括責任者 日本医科大学救急医学教室
横堀 将司

OUTLINE

研修の概略

救急診療や手術での実地修練(on-the-job training)。

外科、脳神経外科、整形外科など基本領域のダブルライセンスを有し、

研修指導医教育ワークショップなどを受講した救急科専門医、指導医から丁寧な指導を受けます。

PROGRAM

基幹施設でのプログラム

01

各診療班カンファレンス
(外科班、脳神経外科班、
整形外科班、災害医療班)、

および関連診療科との
合同カンファレンス

(放射線科、神経内科、
脳神経外科、整形外科など)

02

抄読会・勉強会、
リサーチカンファレンス
への参加



03

臨床現場での
シミュレーションシステムを
利用した知識・技能の習得



04

臨床現場を離れた学習

国内外の標準的治療および
先進的・研究的治療を学習するために、
救急医学に関連する学術集会
(日本救急医学会総会、日本臨床救急医学会、
日本外傷学会、日本集中治療医学会など)、
関連セミナー、講演会およびJATEC、
JPTEC、ICLS(AHA/ACLSを含む)
コースなどの off-the-job training course
に積極的に参加していただきます。

FEATURE

本プログラムの特徴

伝統ある日医救命を礎にした、 本邦屈指の大規模なプログラム！

27もの大規模救急医療施設が連携した、
豊富な症例数を誇る専攻医教育プログラムです。



多部門にわたる豊富な選択肢！

病院前救護(ドクターカー、ドクターヘリ、DMAT)、
ER(救急初療室)での初期診療や手術、ICU管理、
外来フォロー研修など多彩で自由度の高いプログラムです。



ダブルライセンス取得を奨励！

他の基本領域(外科専門医、脳神経外科専門医、整形外科専門医、
放射線科専門医、形成外科専門医など)専門医取得を奨励します。

また、集中治療医学会専門医、外傷学会専門医など、
救急医学のアドバンス専門医を取得しうる環境にあります。



アカデミックな研修環境を提供！

大学院入学を奨励します。勤務しつつ学位(医学博士)取得可能です。
臨床研究、基礎研究、英語論文指導、科学研究費などの
競争的研究費獲得のためのノウハウなどを伝授し、
将来のためのアカデミックキャリア構築も支援します。



働き方改革に順応！ 女性専攻医も選択しやすいプログラム！

チーム診療を背景とした、個人に負担のない研修プログラムです。
当直後の早期退勤、お子さんを送りだしてからの時差出勤など、
チーム医療ならではの配慮が可能。毎年女性専攻医が本プログラムに登録しています。



本研修プログラムは、基幹研修施設である日本医科大学附属病院高度救命救急センターを軸に、
多彩な特徴を有する26もの連携医療施設が密接に連携したプログラムです。

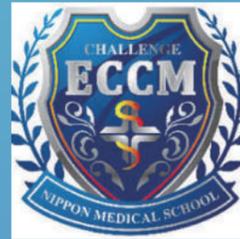
患者さんの命を救うためのすべてのメソッド、すなわち病院前治療から、救急初療室(ER)での対応、そして手術室や集中治療室(ICU)での根本治療に至るまでの基本的知識と技能を習得します。

TRAINING FACILITY 研修施設

日本医科大学付属病院(東京都)

研修指導医14名、救急科専門医22名、その他の領域などの専門医(脳神経外科6名、外科4名、整形外科2名、集中治療科2名、clinical toxicologist 3名、熱傷専門医3名、脳血管内治療専門医2名、高気圧酸素専門医1名など豊富な指導医を誇ります。

外科専門医、脳神経外科専門医、整形外科専門医など、ダブルライセンスを有する救急科専門医、指導医に常時、迅速かつ適切な指導を受けることができることが他施設にない大きな特徴です。



日本医科大学千葉北総病院(千葉県)

【指導者】研修指導医15名、救急科専門医16名(うち指導医5名)、その他の領域などの専門医(外科専門医6名、整形外科専門医2名、集中治療専門医3名、外傷専門医4名、麻酔科専門医1名、小児科専門医1名、航空医療認定指導者4名麻酔科標榜医3名)【救急車搬送件数】3,186台/年(2019年)【研修部門】救命救急センター、病院前診療としてドクターヘリ、ドクターカーわが国有数の重症外傷センターで多くの外傷患者の診療に携わります。



TRAINING FACILITY 研修施設

日本医科大学武蔵小杉病院(神奈川県)

【指導者】研修指導医5名、救急科専門医6名(うち救急科指導医4名)、その他の領域の専門医(外科専門医4名、脳神経外科専門医2名、集中治療専門医3名、clinical toxicologist 2名、熱傷専門医2名、外傷専門医3名、感染症指導医1名、プライマリ・ケア指導医1名など)【標準化教育プログラム指導者】ICLSインストラクター4名、JATECインストラクター3名、JPTECインストラクター3名、PBECインストラクター1名、ACLSインストラクター1名、BLSインストラクター1名、MCLSインストラクター1名。【初期～2次救急】3,875件/年(2019年実績)【3次救急】798件/年【応需率】96.6%(2019年)



日本医科大学多摩永山病院(東京都)

【指導者】研修指導医6名、救急科専門医8名、その他の専門診療科医師(脳神経外科5名など)【救急車搬送件数】3,592台/年ドクターカー、ラピッドレスポンスカーでの病院前救急診療の症例が豊富。



TRAINING FACILITY 研修施設

川口市立医療センター(埼玉県)

【指導者】研修指導医2名、救急科専門医4名、救急科指導医3名、その他の専門診療科医師(脳神経外科専門医3名、外科専門医1名、脳血管内専門医1名など)【救急車搬送件数】1,100台/年。重症外傷患者に対する救急手技・処置の修練が可能



東京臨海病院(東京都)

【指導者】研修指導医1名、救急科専門医3名、その他の専門診療科医師(脳神経外科2名など)【救急車搬送件数】3,084台/年

初期、二次を中心とした内科、外科関連の救急患者対応の研修地域の救急告示病院としての多様な救急疾患に対する対応、処置、診断を研修。



温知会会津中央病院(福島県)

【指導者】研修指導医3名、救急科専門医4名【救急車搬送件数】3,500台/年、うち三次救急1,000-1,100例/年【救急科入院管理例】1,500例【ドクターカー出動】500件/年、軽症～重症のほぼ全ての救急車に救急科が対応している。入院症例の半数は急性期内科的疾患で総合内科的役割も担っている。



TRAINING FACILITY 研修施設

いわき市医療センター(福島県)

【指導者】年間4,136台の救急車と救急外来受診者合わせて22,030名(2019年)の救急患者診療ヘリコプターによる患者受け入れや、救急隊との連携によるドクターカー出動、重症患者の病棟管理や各専門科での専門治療への連携を行います。



山梨県立中央病院(山梨県)

【指導者】研修指導者5名、救急科専門医12名、その他外科、脳神経外科、整形外科、総合内科、集中治療、外傷、脳血管内治療、熱傷、クリニカルトキシコロジストが在籍。【搬送件数】2,150件

県内唯一の救命救急センターとしてドクターヘリ、ドクターカーで24時間、山梨県全域から重症患者を受け入れ、手術・IVRなどの根本的治療から集中治療管理を行っている。



武蔵野赤十字病院(東京都)

【指導者】研修指導医4名、救急科専門医6名、うち外科専門医2名、集中治療専門医2名を含む【救急車搬送件数】10,521台/年。救命救急センター、救急センター(準ER型)【主な救急科研修領域】クリティカルケア・重症患者に対する診療/災害医療(希望者は日本赤十字社救護班研修の参画や遠隔地災害派遣も考慮)東京DMAT指定病院/災害拠点病院【入院症例の管理】専用病床救命、救急センターICU(8床)、HCU(22床)



筑波メディカルセンター病院(茨城県)

【指導者】研修指導医4名、救急科専門医8名【救急車搬送件数】4,807台/年【研修部門】救命救急センター、病院前診療としてドクターカー地域の救命救急センターとして救急対応を習得。



TRAINING FACILITY 研修施設

がん研究会有明病院(東京都)

【救急科領域関連病院機能】二次救急告知病院、災害拠点病院、日本DMAT指定施設【指導者】研修指導医1名、救急科指導医・専門医1名【救急車搬送件数】758台/年(2019年度)【研修部門】救急部・集中治療部
がん患者の院内急変(MET対応)と、がん救急疾患に対する診療を習得。



八戸市民病院(青森県)

【指導者】研修指導医10名、救急科専門医12名【搬送件数】5,414件
一次救急から三次救急までバランスよく経験できる。ドクターカー2台とドクターヘリを合わせて2,116件の病院前救急診療が魅力。国内唯一の病院前ECMO専用車両で劇的救命を実現している。年間症例数は心肺停止249件、外傷登録213件、外科手術196件、IVR20件、外傷手術34件、緊急血液浄化367件、ECMO54件、IABP36件、人工呼吸器1,203件。感動する救命治療を経験できる。



国立病院機構災害医療センター(東京都)

【指導者】研修指導医5名、救急科専門医8名、その他の専門診療科専門医【救急車搬送件数】5,019台/年
豊富な症例(2020年の救急搬送台数6,264件、うち3次搬送台数2,065件)があります。救急科に外科、整形外科、麻酔科等の各種専門医・指導医が在籍しており、指導体制も充実しています。また、災害医療の基幹病院であり、年2回の院内災害訓練の他、CBRN訓練や地元消防との訓練等を行っています。災害医療に興味ある方もサポートします。



荒尾市民病院(熊本県)

【指導者】救急科指導医1名、専門医1名
【救急車収容台数】2,000台/年
【救急外来患者総数】9,000人/年
急性疾患に対する診療を担当し、特に高齢救急患者に対する救急手技・処置を実践する。地域の二次医療機関としての救急対応を習得する。



TRAINING FACILITY 研修施設

足利赤十字病院(栃木県)

【指導者】救急科専門医・指導医1名【救急患者数】救急車4,422件/年、ドクターヘリ25件/年、ドクターカー10件/年、ウォークイン7,129件/年【研修部門】救命救急センター、病院前診療としてドクターカー
地域の救命救急センターとして、walk inから3次救急患者の初期診療、処置を習得。



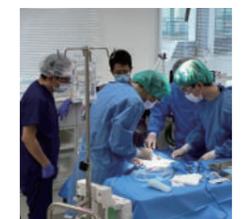
東北大学病院高度救命救急センター(宮城県)

【指導者】救急科指導医10名、救急科専門医17名、その他の専門診療科資格医(集中治療7名、循環器内科1名、脳神経外科2名、整形外科3名、外科11名、麻酔科認定2名(重複あり))【救急車搬送件数】約3,000件/年
基地病院としてのドクターヘリ運用、ハイブリッドERを備えた3次救急医療を軸とする救急診療と高度集中治療研修、最新の救急・集中治療の修得を行います。



さいたま市立病院(埼玉県)

【指導医】研修指導医3名、救急科専門医3名【救急車収容台数】7,503台/年
令和2年12月1日に救命救急センターを開設し、令和3年7月頃よりドクターカーを運用開始予定。さいたま市内のみならず、埼玉県東南部地域の救急医療体制をサポートする役割も有している。三次救急の初療対応と、救急病棟20床(ICU6床・HCU14床)の集中治療管理も救急科で行う。院内診療科との連携は良好で、自己完結型の救命救急センターを目指している。



静岡県立総合病院(静岡県)

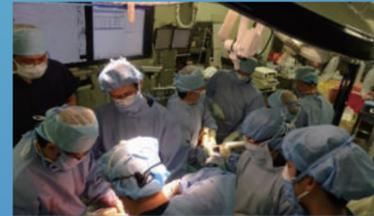
【救急科領域関連病院機能】三次救急医療施設【指導者】研修指導医3名、救急科専門医5名【救急車搬送件数】5,566/年
一般的な救急手技・処置、救急症候に対する診療を習得、ドクターカー、消防ヘリのドクヘリの運航による診療、重症熱傷等診療を含む集中治療総合診療科と協働し、高齢者救急患者に対する診療を実践、地域の救命救急センターとしてMC協議会、災害医療等に参画。



TRAINING FACILITY 研修施設

愛媛大学医学部附属病院(愛媛県)

【指導者】研修指導医4名、救急科専門医8名、外科専門医、集中治療専門医、整形外科専門医など【救急車搬送件数】763/年【研修部門】救急部、松山市救急輪番
病院(ER)支援、愛媛県内救急病院(ER)支援外科・IVR・整形外科など救急科医師と大学内医師との連携が非常にスムーズでありハイレベルな研修。ドクターヘリのフライトスタッフとして搭乗・献体を用いた外傷手術外科トレーニング・多施設でのウェブを用いた重症外傷症例カンファレンスの定期開催。



済生会宇都宮病院(栃木県)

【救急科領域関連病院機能】救命救急センター【指導者】救急科専門医11名、集中治療専門医6名、外科専門医1名、麻酔科専門医2名、循環器専門医1名【救急車搬送件数】7,339件/年
プレホス、ER、ICU、救命センター病棟と救命救急センターの全てを運営する院内の一大部門。特にICUは心臓血管外科術後の管理までも救急医が行っているClosed ICUであり、年間ECMO件数約100例を誇るECMOセンターも併設されている。またECMO Carを用いたワークステーション型のドクターカーを全国に先駆けて稼働させ、年間で1000件出動のペースで運営がなされている。当センターはまさに全次型救命救急センターあり、重症度や傷病の種類、年齢によらず、様々な疾患の初療からICU、病棟管理までを一貫して学ぶことができる。



聖隷浜松病院(静岡県)

【指導者】臨床研修指導医4名、救急科専門医5名、救急医学会指導医1名集中治療専門医2名、外科専門医1名、脳神経外科専門医1名【救急車搬送件数】7,064台/年(2019年度実績)
集中治療部門での重症患者管理(救急症例、院内急変例、大手術後など)コードブルー対応、RRS/MET対応(安全管理、院内急変対応)



国立成育医療研究センター 救急診療科・集中治療科(東京都)

【指導者】常勤医師19名(救急診療科9名・集中治療科10名)、救急専門医9名、集中治療専門医5名、小児科専門医18名、JATECインストラクター1名、PALSインストラクター10名、PFCCSインストラクター2名、DMAT隊員4名【救急車搬送件数】3,100件【救急外来受診者数】28,000名【研修部門】小児救急外来、小児集中治療室、一般小児病棟



TRAINING FACILITY 研修施設

総合病院 国保旭中央病院(千葉県)

【指導者】研修指導医3名、救急科専門医6名、集中治療専門医3名、脳神経外科医1名、腎臓内科専門医1名、外科専門医1名【救急車搬送件数】7,800台/年【研修部門】救命救急センター、病院前診療としてドクターカー外科的・整形外科的救急手技・処置を習得



千葉大学医学部附属病院(千葉県)

【指導者】救急科専門研修指導医16名、救急科専門医16名(集中治療専門医12名、外科専門医2名)【救急車搬送件数】3,500件/年【研修部門】救急科・集中治療部(救急室、ICU/CCU、一般病棟)



熊本赤十字病院(熊本県)

【指導者】研修指導医5名、救急科専門医14名、救急科指導医3名【救急車搬送件数】7,340台/年【研修部門】救命救急センター、病院前診療としてドクターカー研修領域外科的・整形外科的救急手技・処置を習得。病院前治療としてのドクターカー、ドクターヘリ実習一般的な救急手技・処置、救急症候に対する診療を習得。急性疾患に対する診療を習得。



前橋赤十字病院(群馬県)

【指導者】救急科指導医2名、救急科専門医19名、その他集中治療専門医5名、熱傷専門医2名、外傷専門医1名、小児科専門医1名、クリニカル・トキコロジスト2名、脳神経外科専門医1名、日本航空医療学会認定指導者4名、呼吸療法専門医1名、社会医学系指導医2名【救急車搬送件数】6,654名(うちヘリ搬送件数865名)【救急外来受診者数】15,528名【ドクターヘリ、ドクターカー出動件数(2019年度)】ドクターヘリ865件、ドクターカー776件【集中治療室入室数(2019年度)】784名(予定入室298名、緊急入室486名)【研修部門】ドクターヘリ、ドクターカー、救急外来、ER-ICU、General-ICU、病棟

